

1日目 11月14日(火) A会場

12:50~13:50 開会式 会員集会

13:50 学会賞授賞式

14:00~14:50

記念講演

優秀論文賞

COVID-19によって生じた学業への不安が大学生のメンタルヘルスや社会機能に及ぼす影響

武田 知也 (人間環境大学総合心理学部総合心理学科)

研究奨励賞

漢字熟語呈示時の脳磁図反応について

江頭 優佳 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

実践奨励賞

児童思春期のメンタルヘルスの診療能力向上に関する事業

宇佐美政英 (国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科一同)

国際学会発表奨励賞

児童精神科医療における自閉スペクトラム症に関する遺伝カウンセリング：孤発例と多発家系それぞれにおける遺伝カウンセリングを例に

加藤 秀一 (名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科)

国際学会発表奨励賞

新型コロナウイルス禍による経済的影響と発達特性を有する5歳児のメンタルヘルス

坂本 由唯 (弘前大学医学部附属病院 神経科精神科)

15:00~16:00

特別講演1

日本の中世・近世史に影響を与えた津軽の秘史—史実と空想の狭間で—

司会：中村 和彦 (弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座)

演者：大熊 洋揮 (国立病院機構弘前総合医療センター 院長・弘前大学名誉教授)

16:10~17:10

会長講演

神経発達症群の生物学的研究と子どもの疫学研究

司会：岡田 俊 (奈良県立医科大学精神医学講座)

演者：中村 和彦 (弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座)

17:20~19:20

症例検討1

司会：野邑 健二（名古屋大学 心の発達支援研究実践センター）

スーパーバイザー：杉山登志郎（福井大学子どものこころの発達研究センター）

怒りに突き動かされ、孤立していた男児との入院治療を通じて

箱島 有輝（国立国際医療研究センター国府台病院）

14:00~16:00

シンポジウム1

東日本大震災がもたらしたものー我々は何を学び、何を残そうとしたのかー

司会：本多 奈美（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座 臨床心理学分野）

司会：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・岩手医科大学附属病院児童精神科）

S1-1 福島の子どもたちー県民健康調査からの知見ー

板垣俊太郎（福島県立医科大学 神経精神医学講座）

S1-2 みちのくこどもコホートー大災害後に生まれた子どもの育ちー

八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・岩手医科大学附属病院児童精神科）

S1-3 被災した子どもへの初期対応 (PFAの拡がり)と課題)

福地 成（東北医科薬科大学医学部 精神科学教室、公益社団法人宮城県精神保健福祉協会
みやぎ心のケアセンター）

S1-4 日本児童青年精神医学会災害対策委員会の取り組みとあゆみー災害時における児童精神科医
ネットワークの構築へー

中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

16:10~17:10

教育講演1

児童福祉と児童精神科臨床ー児童相談所は多くの可能性を秘めた主要な児童精神科臨床の場ー

司会：上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

演者：本間 博彰（公益財団法人 星総合病院）

17:20~19:20

症例検討2

司会：小野 和哉（聖マリアンナ医科大学 神経精神科）

スーパーバイザー：市川 宏伸（日本発達障害ネットワーク）

自閉性カタトニアを抱える青年への心理・教育的アプローチの実践

松本 拓真（岐阜大学）

14:00~16:00

シンポジウム2

神経発達症を伴う摂食障害の支援に向けて

司会：高宮 静男（たかみやこころのクリニック）

司会：中里 道子（国際医療福祉大学成田病院精神科）

S2-1 神経発達症を伴う摂食障害の特徴と支援

中土井芳弘（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）

S2-2 神経発達症合併における学校、とくに養護教諭との協力支援

高宮 静男（たかみやこころのクリニック）

S2-3 神経発達症を併存した摂食障害における家族をベースとする治療

鈴木 太（上林記念病院こども発達センターあおむし）

S2-4 認知機能改善療法（CRT）ー認知特性をターゲットとした支援について

公家 里依（信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部）

16:10~17:10

教育講演2

発達障害と非行ー家裁調査官の経験から

司会：森岡由起子（聖学院大学 心理福祉学研究所）

演者：藤川 洋子（京都工芸繊維大学）

17:20~19:20

症例検討3

司会：三上 克央（東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学領域）

スーパーバイザー：松本 英夫（医療法人 丹沢病院）

東邦大学医療センター大森病院における児童摂食障害症例の治療について

山口 大樹（東邦大学医学部精神神経医学講座）

17:20~19:20

症例検討4

司会：辻井 農亜（富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座）

スーパーバイザー：田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

幻覚妄想状態で引きこもりの息子と拡大自殺を企てた母親を医療観察法制度下の治療を行って
いく中で息子が引きこもりから脱却した症例

辻 里花、吉岡 真吾（愛知県精神医療センター）

17:20~19:20

症例検討5

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 医学部看護学科 人間発達学）

スーパーバイザー：生地 新（北里大学大学院医療系研究科 発達精神医学）

幼少期の虐待により反応性アタッチメント障害を発病した女児の治療過程

○原田 健一郎、光井 瞳、山科 貴裕、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

16:10~17:10

ポスター1

虐待・強迫症

司会：赤間 史明（東海大学医学部附属病院）

P1-1 親の小児期逆境体験 (Adverse Childhood Experiences : ACEs) は子ども世代に受け継がれているのか？ ～母子間の世代間伝達に関するカルテ調査～

○早川 宜佑^{1,3}、柳橋 達彦^{2,3}、岩垂 喜貴³、笠原 麻里³、須田 史朗¹

1. 自治医科大学精神医学講座、
2. 自治医科大学附属病院とちぎ子ども医療センター 子どもの心診療科、
3. 駒木野病院 精神科・児童精神科

P1-2 幼少期の虐待により反応性アタッチメント障害を発病した女児の治療過程

○原田 健一郎、光井 瞳、山科 貴裕、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

P1-3 チックへの自己対処の内容尺度の作成及び自己対処の内容と生活満足度との相関

○松田 なつみ^{1,2}、野中 舞子^{2,4}、藤原 麻由²、鈴木 茜音²、金生 由紀子^{2,3}

1. 白百合女子大学人間総合学部 発達心理学科、
2. 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部、
3. 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野、
4. 東京大学大学院教育学研究科臨床心理学コース

P1-4 漫画やゲームのメタファーが児童の強迫性障害に対する曝露反応妨害法の治療導入に有効だった一例

○仲地 究¹、堀内 史枝^{2,4}、河邊 憲太郎^{2,4}、上野 修一³

1. 一般財団法人創精会 松山記念病院、
2. 愛媛大学医学部附属病院 子どものこころセンター、
3. 愛媛大学病院 精神科、
4. 愛媛大学病院 児童精神医学講座

16:10~16:55

ポスター2

入院治療1

司会：猪股 誠司（湘南福祉センター診療所）

P2-1 知的障害、情緒障害若しくは発達障害、またはこれらの疑いのある非行少年が収容される当院の高収容率について

西山 里

宮川医療少年院

P2-2 国府台病院児童精神科病棟における集団精神療法「児童ミーティング」の実践報告

○松堂 美紀¹、原田 郁大²、杉本 佳織³、市川 万由奈¹、板垣 琴瑛¹、稲崎 久美³、箱島 有輝³、水本 有紀³、宇佐美 政英³

1. 国立国際医療研究センター国府台病院 心理指導室、

2. 国立国際医療研究センター国府台病院 ソーシャルワーク室、

3. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科

P2-3 大学附属総合病院における小規模児童思春期精神科ユニットと運用と課題

○根本 泰明、塚原 さち子、中村 知佳、島内 智子、安藤 久美子、小野 和哉
聖マリアンナ医科大学 精神神経科

16:10~17:10

ポスター3

その他1

司会：山本 直毅（長崎大学病院 精神神経科）

P3-1 子どもの希死念慮に関する親子間のミスコミュニケーションと親の抑うつとの関連

○角野 信¹、宮脇 大^{1,3}、後藤 彩子¹、平井 香²、濱 宏樹¹、西浦 沙耶花¹、井上 幸紀¹

1. 大阪市立大学（現大阪公立大学）大学院医学研究科神経精神医学、

2. 大阪公立大学大学院医学研究科小児発達医学、

3. 大阪市立総合医療センター児童青年精神科

P3-2 思春期青年期における精神病様症状のアセスメントーMAP (Marianna Adolescence Assessment Package) 導入の試みー

○塚原 さち子、根本 泰明、熊田 知佳、島内 智子、安藤 久美子、小野 和哉
聖マリアンナ医科大学 神経精神科

P3-3 グアンファシによる治療前後の小児期注意欠如・多動症のP300 (続報)

○杉山 龍^{1,2}、水井 亮¹、川西 悠加¹、土居 史磨^{1,3}、神川 浩平¹、岡崎 康輔¹、山室 和彦¹、浦谷 光裕¹、太田 豊作⁴、飯田 順三⁵、牧之段 学¹

1. 奈良県立医科大学付属病院 精神医学講座、2. 奈良県総合医療センター 精神科、

3. 東大阪市立障害児者支援センター、4. 奈良県立医科大学 人間発達学、

5. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆

P3-4 東日本大震災後に出生した子どもと保護者の精神健康の縦断的な関連

松尾 菜津美

岩手医科大学附属病院 児童精神科

2日目 11月15日(水) A会場

9:00~10:00

教育講演3

脳科学からみる幼少期マルトリートメントの治療介入

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 医学部看護学科 人間発達学）

演者：山室 和彦（奈良県立医科大学 附属病院精神科）

10:10~11:10

教育講演4

赦し認めあう生へ ー複雑性PTSD経験の苦しみから自分の生を享受する方向へー

司会：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）

演者：村瀬嘉代子（大正大学・日本心理研修センター）

11:20~12:20

教育講演5

青年期の臨床に求められているもの

司会：野邑 健二（名古屋大学 心の発達支援研究実践センター）

演者：青木 省三（慈圭会精神医学研究所）

12:50~13:50

共催セミナー1（ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス）

神経発達症とトラウマとアタッチメント ー子どもを多角的にみても包括的に支援することー

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学精神医学講座）

演者：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・岩手医科大学附属病院児童精神科）

14:00~15:00

特別講演2

司会：中村 和彦（弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座）

療育手帳に係る判定基準統一化の検討進捗報告および実施協力について

中山 美恵（厚生労働省 社会援護局 障害福祉部 企画課）

これからのこども政策について

杉本 拓哉（こども家庭庁 支援局 障害児支援課）

15:10~16:10

先達に聞く

最近の病態にみる思春期問題 ー前々思春期の提唱ー

司会：小野 和哉（聖マリアンナ医科大学 神経精神科）

演者：牛島 定信（市ヶ谷ひもろぎクリニック（名誉院長））

16:20~17:20

教育講演6

自閉スペクトラム障害の問題提起行動とコミュニケーション支援

司会：本多 奈美（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座 臨床心理学分野）

演者：門 眞一郎（フリーランス）

8:30~10:30

シンポジウム3

最新のテクノロジーを用いた発達障害支援の現状と今後の課題

司会：奥野 正景（三国丘こころのクリニック）

司会：熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

S3-1 発達障害支援を念頭に置いたメタバース、ヒューマノイドロボット技術の開発

吉川雄一郎（大阪大学基礎工学研究科）

S3-2 AIエージェント技術の現状と発達障害児支援の限界

寺田 和憲（岐阜大学工学部）

S3-3 AIを用いた5歳児健診の潜在性

熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

S3-4 最新のテクノロジーを用いた発達障害児支援の倫理的課題

上出 寛子（名古屋大学）

指定発言

本多 奈美（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座 臨床心理学分野）

10:40~12:40

薬事委員会セミナー

改訂された注意欠如・多動症－ADHD－の診断・治療ガイドラインをどのように臨床に活かすか

司会・コーディネータ：根来 秀樹（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

司会・コーディネータ：辻井 農亜（富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座）

ガイドラインに基づくADHDの評価・診断とその治療

宇佐美政英（国立国際医療研究センター 国府台病院 児童精神科）

ADHDの非薬物療法

岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

ADHD治療における非中枢神経刺激薬の役割

木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科）

ADHD治療における中枢神経刺激薬の役割

堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

益と害のバランスを踏まえた中枢神経刺激薬の処方

藤田 純一（横浜市立大学附属病院 児童精神科）

12:50~13:50

共催セミナー2（武田薬品工業株式会社）

注意欠如多動症に対する心理社会的治療および薬物療法

司会：三上 克央（東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学）

演者：小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック 小児精神保健科）

14:00~16:00

生涯教育に関する委員会セミナー

自閉スペクトラム症を学ぶ

司会：三上 克央（東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学）

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 医学部看護学科人間発達学）

概念の歴史

尾崎 仁（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

病因（遺伝要因を中心に）

加藤 秀一（名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科）

診断

岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

治療と支援

岩佐 光章（横浜市総合リハビリテーションセンター 発達精神科、横浜市西部地域療育センター）

指定発言

小坂 浩隆（福井大学医学系部門病態制御医学講座精神医学）

16:20~18:20

シンポジウム5

神経発達症の人たちの余暇活動支援

司会：本田 秀夫（信州大学）

司会：関 正樹（大湫病院）

S5-1 ASDのある児童・青年の特別な興味に寄り添うコミュニケーション支援－会話型ロールプレイングゲームの可能性－

加藤 浩平、藤野 博（東京学芸大学）

S5-2 療育センターでの仲間づくり支援プログラム開発から大学での生涯学習プログラム開発に至るまで

日戸 由刈（相模女子大学）

S5-3 ASDの特性に特化した余暇活動支援の探究

関根 礼子（特定非営利活動法人ネスト・ジャパン）

S5-4 診察室で子どもたちと好きなことについて語る意味

関 正樹（大湫病院）

8:30～10:30

シンポジウム4

今こそ正しく伝えよう、子どもたちに性のことを ～子どもが自分で心と身体を守れるようにサポートする～

司会：上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

司会：定本ゆきこ（京都少年鑑別所）

S4-1 包括的性教育とは ～性被害、性虐待から子どもたちを守る～

上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

S4-2 非行臨床における性の加害と被害

定本ゆきこ（京都少年鑑別所）

S4-3 包括的性教育における産婦人科医師の役割 ～他職種とのつながりを活かして～

井上 聡子（さところ女性クリニック）

S4-4 子どもを暴力から守るCAP(キャップ)の取り組み

木村 里美（一般社団法人J-CAPTA）

10:40~12:40

国際学会連絡・国際交流資金運営委員会セミナー

Current Status and Countermeasures for Child Suicide from the perspectives of each country

司会 (Chairperson)

Machi Kakimoto (柿元 真知)

Mie Prefectural Medical Center for Child Growth, Development and Disability

(三重県立子ども心身発達医療センター)

冒頭あいさつ (Opening greetings)

Nagahide Takahash (高橋 長秀)

Department of Child and Adolescent Psychiatry, Nagoya University Graduate School of Medicine

(名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科)

発表 (Presentation)

Presenter

1. "Population-attributable risk of psychiatric disorders for suicide among adolescents and young adults in Taiwan" (台湾)
Yi-An Hung
Department of Psychiatry, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan
2. "Current Status of Child and Adolescent Suicide in Korea: Are We There Yet?" (韓国)
Woo-Seok Choi
Department of Psychiatry, Seoul National University Hospital, Seoul, Korea
3. "Suicide Prevention and Welfare Policies for Children and Young Adults: A Comparison of France and Japan" (フランス)
Akiko Awa (安發 明子)
Ritsumeikan University Faculty of Human Science (立命館大学 人間科学研究科)
4. "Current Status and preventive effort of Child and Adolescent Suicide in Japan" (日本)
Takuya Saito (齊藤 卓弥)
Department of Child and Adolescent Psychiatry, Graduate School of Medicine, Hokkaido University (北海道大学大学院医学研究院 児童思春期精神医学分野)

総合討論 (Discussion)

司会 (Chairperson)

Tomoko Shimanouchi (島内 智子)

Department of Psychiatry, St.Marianna University, School of Medicine

(聖マリアンナ医科大学神経精神科)

Closing remark

Yukiko Kano (金生由紀子)

Department of Child Neuropsychiatry, Graduate School of Medicine, University of Tokyo

(東京大学大学院医学系研究科 こころの発達医学分野)

14:00~16:00

シンポジウム6

SNSとその周辺

司会：関 正樹（大湫病院）

司会：樋端 佑樹（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室）

S6-1 SNSとつきあう準備—大人と子どものリテラシー

吉川 徹（愛知県医療療育総合センター 中央病院）

S6-2 子どもたちの居場所としてのSNS

関 正樹（大湫病院）

S6-3 ネットいじめなどSNSにまつわるリスク

樋端 佑樹（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室）

指定発言

木村 一優（医療法人社団新新会多摩あおば病院）

16:20~18:20

倫理委員会セミナー

改正精神保健福祉法の倫理的課題

司会：中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

司会：太田順一郎（岡山市こころの健康センター）

児童精神科入院治療における倫理的課題（架空事例を通して）

庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科）

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に伴い児童精神科入院治療の現場で起きていること—全国児童青年精神科医療施設協議会による、親が虐待者である場合の医療保護入院に関する実態調査から—

中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

児童相談所における精神保健福祉法改正に伴う現状と課題

小平かやの（東京都児童相談センター）

8:30~10:30

心理職に関する委員会セミナー

自閉スペクトラム症の心理アセスメント

司会：吉川 徹（愛知県医療療育総合センター 中央病院）

司会：福田 理尋（岡山県精神科医療センター）

診断につながるアセスメント (ADOS, ADI-Rなど)

黒田 美保（田園調布学園大学）

障害特性に関するアセスメント

岡田 智（北海道大学 教育学研究院）

支援につながるアセスメントーポストン・プロセス・アプローチからの示唆ー

桑野 恵介（株式会社スペクトラムライフ）

青年期・成人期のメンタルヘルスの問題への気づき

千田 若菜（ながやまメンタルクリニック）

10:40~13:50

子どもの人権と法に関する委員会パネルディスカッション

女子非行の理解と支援

司会：中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

司会：今村 明（長崎大学生命医科学域 保健学系 作業療法学分野）

女子非行の特徴についてー医療の立場から

定本ゆきこ（京都少年鑑別所）

司法の場に現れる女子について

安保 千秋（都大路法律事務所）

女子少年院における社会復帰支援について

平田 哉（丸亀少女の家）

12:40~13:50

鑑定人リスト登録者交流会

14:00~15:00

一般口演1

PDD 1

司会：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター 脳機能発達研究部門）

○1-1 自閉スペクトラム症成人における脳内グルタミン濃度の検討

○松崎 秀夫^{1,2}、平井 孝治³、梅田 尚子³、辻井 正次^{4,5}

1. 福井大学子どものこころの発達研究センター、
2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、
3. 福井大学学術研究院医学系部門看護学領域、
4. 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、
5. 中京大学現代社会

○1-2 発達障害外来児に対するロボットによるプレパレーションの有用性の検討：予備的研究

○石井 あずさ¹、奥泉 大地²、熊寄 博一¹、吉川 雄一郎³

1. 長崎大学大学院医歯薬総合研究科未来メンタルヘルス学分野、
2. 北水会記念病院、
3. 大阪大学 基礎工学研究科 システム創成専攻

○1-3 クラウドソーシングを用いた自閉スペクトラム症児の睡眠と発達に関する研究

○清水 日智¹、山本 直毅¹、今村 明¹、熊寄 博一^{1,2}

1. 長崎大学病院精神神経科、
2. 岐阜大学工学部

○1-4 新型ハグロボット「Moffuly (モフリー)」の使用によるハグされる安心感の検討

○西川 菜月¹、大西 裕也²、住岡 英信²、塩見 昌裕²、今村 明³、熊寄 博一¹

1. 長崎大学大学院医歯薬総合研究科、
2. 株式会社国際電気通信基礎技術研究所、
3. 長崎大学生命医科学域

15:10~16:10

一般口演2

PDD 2

司会：大瀧 和男（かずおメンタルクリニック）

○2-1 強迫関連現象の出現をきっかけに、不安・コミュニケーション・感覚の特異性を中心に再評価し、自閉スペクトラム症への診断再考に至った8歳男児の一例

○鈴木 龍太郎¹、中島 康輔¹、神谷 俊介^{1,2}、小野 剛³、稲田 健²

1. 北里大学医学部 地域児童精神科医療学、
2. 北里大学医学部精神科学、
3. 東日本少年矯正医療・教育センター

○2-2 「聞こえ」の問題を訴える自閉スペクトラム症の聴覚検査の検討

○三好 紀子¹、松本 恵²、中川 あや³、池田 学²

1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科子どものこころの分子統御機構研究センター、
2. 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学、
3. 市立池田病院 耳鼻いんこう科

○2-3 社会的コミュニケーションの主観的困難さに関する自記式質問紙票 (Difficulty in Social Communication-15 : DISC-15) の開発に向けた予備的研究

○石橋 孝勇、玉城 美波、近藤 毅

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

○2-4 若年層におけるDifficulty in Social Communication-15 (DISC-15) と自閉特性および社交不安との関連

○玉城 美波、石橋 孝勇、近藤 毅

琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座

16:20~17:20

一般口演3

PDD 3

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 医学部看護学科人間発達学）

○3-1 母子共にASD特性を有する親子が、情緒的交流を回復させて母子関係の危機を乗り越えた一例

○小野 剛^{1,2}、鈴木 龍太郎³、吉村 有希²、中島 康輔³、神谷 俊介^{2,3}、稲田 健²

1. 東日本少年矯正医療・教育センター、
2. 北里大学医学部精神科学、
3. 北里大学医学部地域児童精神科医療学

○3-2 診断閾値下の自閉症スペクトラム児をどう扱うかークリニックでできることー

○大瀧 和男¹、大瀧 近子²

1. 医療法人和音会かずおメンタルクリニック、
2. 医療法人和音会かずおの森

○3-3 診断閾値下の自閉症スペクトラム児をどう扱うかー児童発達支援でできることー

○大瀧 近子¹、大瀧 和男²

1. 医療法人和音会かずおの森、
2. 医療法人和音会かずおメンタルクリニック

○3-4 自閉スペクトラム症幼児の記憶特性ー検索が転移に及ぼす効果ー

○堀田 千絵¹、十一 元三²

1. 京都市立芸術大学・神経発達症研究推進機構、
2. 京都大学名誉教授・神経発達症研究推進機構

17:30~18:30

一般口演4

PDD 4

司会：板垣 俊太郎（福島県立医科大学 神経精神医学講座）

○4-1 衝突を繰り返すなかで見えてきたA君の苦しみと成長

時里 晋一郎

のぞえの丘病院

○4-2 自閉スペクトラム症を有する大学生の修学支援について①「合理的配慮」の前提としてのアセスメントの在りかた

○藤川 洋子、三好 智子

京都工芸繊維大学

○4-3 自閉スペクトラム症を有する大学生の修学支援について：②有効な支援としてのピア・チューター活動

○三好 智子、藤川 洋子

京都工芸繊維大学

○4-4 潜在意味解析と感情分析の時系列分析をした発達障害の一例

○簡野 宗明、高橋 奈那、網干 岳、沼沢 卓真、佐藤 文佳、山口 裕子、吉田 夕佳、藤橋 桃子
山形大学医学部 精神科

8:30~9:30

一般口演5

発達障害

司会：太田 英伸（秋田大学大学院 医学系研究科作業療法学講座）

O5-1 外在化障害評価尺度ADHD-rating scale-5とDisruptive Behavior Disorders Rating Scaleの心理測定学研究：養育者と教師からの報告をどのように使えば良いか？

○西山 毅¹、石橋 佐枝子^{3・8}、鈴木 太^{4・5・7}、牧野 拓也^{2・4・5・9}、中道 秀尚⁴、飯田 知子^{4・5・9}、島田 尚子^{4・5・9}、渡真利 眞治^{2・5}、今成 英司^{2・5}、東 琢磨^{2・5}、福元 進太郎^{2・5}、倉田 佐和^{2・5}、木村 拓磨⁶、森本 武志^{4・5}、小坂 浩隆^{2・4・5・9}

1. 名古屋市立大学大学院 医学研究科 公衆衛生学、
2. 福井大学大学院 医学系研究科 精神医学、
3. 敦賀市立看護大学 看護学部、
4. 福井大学 子どものこころの発達研究センター、
5. 福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部、
6. 東海学園大学 教育学部、
7. 上林記念病院 こども発達センターあおむし、
8. 福井大学大学院 先端応用医学コース 器官再生医学部門、
9. 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所 福井校

O5-2 早産出生の乳幼児の活動・睡眠特性と精神発達

○太田 英伸^{1・2・3}、COI stream Group^{4・5・6・7・8・9・10・11・12}

1. 秋田大学大学院 医学系研究科 作業療法学講座、
2. 国立精神・神経医療研究センター 睡眠・覚醒障害研究部、
3. 静和会 浅井病院 精神科、
4. 北海道大学病院、
5. 札幌市立病院、
6. 秋田大学大学院、
7. 金沢大学附属病院、
8. 聖路加国際病院、
9. 東邦大学医療センター、
10. 大森病院、
11. 日本赤十字社医療センター、
12. 三重大学

O5-3 注意欠如多動症における時間知覚と生活習慣の関係

○義村 さや香、吉川 麟作

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 作業療法学講座

O5-4 自閉スペクトラム症における感覚処理と気分状態との関連

○吉川 麟作、義村 さや香

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 作業療法学講座

9:40~10:40

一般口演6

ゲーム

司会：鈴木 太（上林記念病院こども発達センターあおむし）

O6-1 のぞえの丘病院におけるゲーム・ネット依存グループの歩みーネットでしか繋がれなかったメンバーの“リアルなつながり”のかたちー

○上西 章人、堀川 直希、安澤 英紀、野田 明希
のぞえの丘病院

O6-2 ICD-11 ゲーム行動症の診断基準にみられる問題点

○井出 草平¹、中川 譲¹、牧野 拓也^{2・5}、鈴木 太^{3・4}
1. 多摩大学情報社会研究所、2. 福井大学医学部精神医学、
3. 上林記念病院 こども発達センターあおむし、
4. 福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門、
5. 大阪大学大学院・大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科

O6-3 子どものインターネット利用と子どもの情緒、行動との関連についての検討

○須山 聡¹、西木 百合子^{2・3}、福屋 吉史^{4・5}、山脇 かおり⁶、小川 しおり⁷、石塚 一枝⁸
1. 北海道大学病院 児童思春期精神医学研究部門、
2. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、
3. 東京大学大学院医学系研究科こころの発達診療部、
4. あさかホスピタル総合心療科、5. 東邦大学医学部精神神経医学講座、
6. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科、
7. 日本福祉大学 教育・心理学部、8. 成育医療研究センター研究所 社会医学研究部

O6-4 インターネット依存・ゲーム障害の子どもを持つ家族へのアプローチーCRAFTを参考にした心理教育の効果ー

○森田 浩司、花房 昌美
独立行政法人 大阪精神医療センター

10:50~11:50

一般口演7

症例1

司会：鬼頭 有代（医療法人いちえ 有希クリニック）

- 7-1 鉄剤の過量内服により肝不全をきたしたが、急性鉄中毒に対応できる医療機関が見つからず転院調整に難航した一例

○佐久田 静、丹羽 篤、山形 祥礼、橋本 衛
近畿大学病院 精神神経科学教室・メンタルヘルス科

- 7-2 書痙が併存したうつ病の思春期女性の一例

古堅 祐行
医療法人研成会 札幌鈴木病院 心療内科 メンタルヘルス科

- 7-3 FBT (Family based treatment for adolescent anorexia nervosa) の要素を取り入れた外来治療にて回復した神経性やせ症の女児例

菊地 澄恵
未来の風せいわ病院

- 7-4 一卵性双生児に発症した摂食障害の2例 一摂食障害における感応性一

○中村 博大^{1,2}、柳橋 達彦²、倉田 和美²、稲川 優多¹、須田 史朗¹
1. 自治医科大学精神医学講座、
2. 自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科

12:00~12:45

一般口演8

症例2

司会：金井 講治（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター）

- 8-1 無水エタノール服毒による初回自殺企図の13歳女児に対して集中治療室での入院治療が「holding environment」を果たした一例

○小田 暁^{1,3}、萩原 将孝^{1,3}、石山 雄一¹、大西 雄一²、山本 賢司²、三上 克央²
1. 東海大学医学部附属八王子病院 精神科、
2. 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学、3. 医療法人 弘徳会 愛光病院

- 8-2 小児の精神状態把握のための10秒呼吸法下での心拍変動測定の有用性

端谷 毅
はしたにクリニック

- 8-3 10秒呼吸法の小児精神疾患への改善効果（症例報告）

端谷 毅
はしたにクリニック

14:00~15:00

一般口演9

リエゾン・治療連携

司会：山田 敦朗（名古屋市立大学 大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

- 9-1 幻聴を主とした症状で小児科から紹介され、統合失調症の初発エピソードか解離性幻聴かの診断・治療に苦慮した1例

坂田 幹樹^{1,2}

1. 医療法人白水会 紀泉病院、2. 医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心療内科・精神科

- 9-2 小児がん患者における疾病受容評価法開発とその実施による探索的検討

○田中 恭子、小林 まどか

国立研究開発法人国立成育医療研究センター こころの診療部

- 9-3 発達障害を有する子供の感覚の過敏性とアレルギー性疾患の関連性について

山口 若菜

北九州市立総合療育センター

- 9-4 抗精神病薬の効果が乏しくメラトニンが著効した小児のせん妄の1例

○高瀬 菜々子、長沢 崇

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

15:10~16:10

一般口演 10

その他

司会：藤川 洋子（京都工芸繊維大学）

○10-1 子どものLGBT (Lesbian、Gay、Bisexual、Transgender) 対応の現状

中山 浩

川崎市こども家庭センター

○10-2 若年層の自死予防における学生ボランティアサークル「YELL」の活動

林 みづ穂

仙台市精神保健福祉総合センター

○10-3 児童青年期のメンタルヘルスケアに従事する心理士の業務実態—日本児童青年精神医学会における心理職会員への動向調査より

○金子 一史¹、小平 雅基²、今村 扶美³、岡田 智⁵、桑野 恵介⁴、中里 容子⁶、福田 理尋⁷、大賀 肇¹⁰、吉川 徹⁸、本多 奈美⁹

1. 名古屋大学心の発達支援研究実践センター、
2. 恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育クリニック、
3. 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床心理部、
4. 株式会社スペクトラムライフ、
5. 北海道大学教育学研究院、
6. 明治大学子どものこころクリニック、
7. 岡山県精神科医療センター、
8. 愛知県医療療育総合センター中央病院、
9. 東北大学大学院教育学研究科、
10. 医療法人仁精会三河病院

○10-4 子どもの孤独感と自傷行為との関連に関する縦断研究

○福屋 吉史^{1,2}、石塚 一枝³、山脇 かおり⁴、須山 聡⁵、西木 百合子^{6,7}

1. あさかホスピタル総合心療科、
2. 東邦大学医学部精神神経医学講座、
3. 成育医療研究センター研究所社会医学研究部、
4. 国立障害者リハビリテーションセンター病院小児科・児童精神科、
5. 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、
6. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、
7. 東京大学大学院医学系研究科こころの発達診療部

16:20~18:40

映画

自主上映「プリズン・サークル」

企画：上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

10:30~11:30

ポスター4

PDD 1

司会：萩原 拓（北海道教育大学旭川校）

P4-1 発達性協調運動障害を合併する自閉スペクトラム症男児の運動療法による変化

○棟近 孝之¹、村上 友香理²

1. 医療法人和合会 和合病院、2. AKIDSラボ

P4-2 自閉スペクトラム症者の就労定着を支える要因の検討

○南場 美沙都¹、西村 大樹²、内田 晃裕¹、小西 菜緒¹

1. 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター、
2. 岡山大学大学院社会文化科学研究科 客員研究員

P4-3 適応に困難のある子どもの実態把握 —包括的アセスメントにおける分析の視点—

○萩原 拓、蔦森 英史、片桐 正敏

北海道教育大学旭川校

P4-4 自閉スペクトラム症の背景から中学生時に不登校を認めたが、移行支援を通して高校進学を契機に登校が可能となった3症例

○和気 玲^{1,2}、稲垣 卓司³

1. 島根大学医学部出雲保健管理センター、2. 島根大学医学部精神医学講座、
3. 島根大学教育学部特別支援教育専攻

10:30~11:30

ポスター7

その他3

司会：大西 雄一（東海大学医学部）

P7-1 臨床群と一般群からみる青年期の性別違和感 —性別違和感尺度のカットオフ値の設定—

○吉野 真紀¹、鷺見 聡²、川端 康雄³、上島 奈菜子⁴、高山 真衣³、康 純⁵

1. 日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科、2. 金城学院大学 看護学部 看護学科、
3. 大阪医科薬科大学病院 精神神経科、4. 駒澤大学 文学部 心理学科、
5. 関西大学保健管理センター

P7-2 診療所で出会う性別違和を抱える子ども達

松岡 祐加

クリニックまつおか

P7-3 新型コロナウイルス禍における経済状況と子どものメンタルヘルス

○坂本 由唯³、斉藤 まなぶ²、照井 藍¹、三上 珠希²、大里 絢子²、廣田 智也^{1,4}、中村 和彦¹

1. 弘前大学大学院 医学研究科 神経精神医学講座、
2. 弘前大学大学院保健学研究科・医学部心理支援科学科、
3. 弘前大学医学部附属病院神経科精神科、4. サンフランシスコ大学

P7-4 子どものこころの健康相談におけるCOVID-19感染拡大の影響

○佐藤 孝憲、成重 竜一郎

社会医療法人公徳会若宮病院

10:30~11:15

ポスター10

発達障害

司会：長倉 いのり（京都市児童福祉センター診療所）

P10-1 軽微な頭部打撲をきっかけに不適應に至ったASD疑い例

渡部 泰弘

秋田県立医療療育センター 小児科

P10-2 A市における自閉スペクトラム症児の栄養素摂取の特徴

○秋山 郁菜¹、小枝 周平²、三上 美咲²、齊藤 まなぶ²

1. 秋田県立医療療育センター、2. 弘前大学大学院保健学研究科

P10-3 愛着の問題による言動と発達障害による言動の鑑別

○稲垣 卓司¹、和氣 玲²

1. 島根大学教育学部 特別支援教育専攻、2. 島根大学保健管理センター出雲

11:40~12:40

ポスター5

その他2

司会：田中 容子（府中刑務所）

P5-1 潜在的なゲーム行動症のリスクと、ゲームを構成する要素の示唆的考察「COVID-19パンデミック下における長崎県の児童・生徒のゲーム行動調査」を踏まえて

○山本 直毅^{1,2}、今村 明³

1. 長崎大学病院 精神神経科、2. 長崎大学病院 地域連携児童思春期精神医学診療部、
3. 長崎大学生命医科学域 保健学系 作業療法学分野

P5-2 診断に苦慮した中等度知的能力障害を伴う特発性過眠症男児の一例 ～小児の睡眠障害の評価における睡眠検査の重要性～

○中村 啓喜¹、加藤 秀一¹、尾崎 紀夫²

1. 名古屋大学精神科 親と子どもの心療科、
2. 名古屋大学大学院医学系研究科 精神疾患病態解明学

P5-3 児童精神科医になるために最適な研修とは ～神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科レジデント修了医へのアンケート調査から～

○中村 智朗、庄 紀子

神奈川県立こども医療センター

P5-4 幼児期における神経発達の移行パターン及び移行パターンを予測する因子の特定

○加藤 健生、西村 倫子

浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

11:40~12:40

ポスター8

PDD 2

司会：山室 和彦（奈良県立医科大学 附属病院精神科）

P8-1 脳磁図のP1m反応から自閉スペクトラム症の特性の強さを予測する

○佐野 滋彦¹、廣澤 徹^{1,2}、吉村 優子^{2,3}、菊知 充^{1,2}

1. 金沢大学医薬保健研究域 医学系 精神行動科学、
2. 金沢大学 子どものこころの発達研究センター、
3. 金沢大学人間社会研究域 学校教育系

P8-2 成人期自閉スペクトラム症における感覚異常と事象関連電位の関連について

○宮崎 茉衣^{1,2}、水井 亮¹、川西 悠加¹、土居 史磨^{1,3}、神川 浩平¹、岡崎 康輔¹、山室 和彦¹、
浦谷 光裕¹、太田 豊作⁴、飯田 順三⁵、牧之段 学¹

1. 奈良県立医科大学 精神医学講座、
2. 天理よろづ相談所病院 精神神経科、
3. 東大阪市立障害児者支援センター、
4. 奈良県立医科大学 人間発達学、
5. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆

P8-3 自閉スペクトラム症における入眠時脳波解析

○中川 栄二^{1,2}

1. 国立精神・神経医療研究センター病院 小児神経科、
2. 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

P8-4 自閉スペクトラム症幼児への早期支援の効果検証 ～アイトラッキングを用いた検討～

○黒田 美保^{1,3,5}、實吉 綾子²、浜田 恵^{3,6}、稲田 尚子⁴

1. 田園調布学園大学、
2. 帝京大学、
3. 名古屋学芸大学、
4. 大正大学、
5. BRIDGE こころの発達研究所、
6. 中京大学

11:40~12:40

ポスター11

その他4

司会：大賀 肇（三河病院）

P11-1 成人における Sluggish Cognitive Tempo の有病率と関連要因の探索的調査

○中島 陽大^{1,2}、武田 俊信³、辻 由依⁴、毛利 育子²

1. 洛和会音羽病院 臨床心理室、
2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究所、
3. 龍谷大学心理学部、
4. 札幌学院大学

P11-2 児童青年期臨床例における幻覚と感覚処理障害との関連

○西浦 沙耶花¹、宮脇 大^{1,2}、後藤 彩子¹、平井 香³、角野 信¹、濱 宏樹¹、井上 幸紀¹

1. 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学、
2. 大阪市立総合医療センター児童青年精神科、
3. 大阪市立大学大学院医学研究科小児発達医学

P11-3 神経発達症をともなう児童への運動療法介入による静止立位姿勢改善に対する即時効果

○村上 友香理¹、棟近 孝之²

1. AKIDS ラボ、
2. 医療法人和合会和合病院

P11-4 注意欠如・多動症の健康増進に向けたコーチングプログラムの適用事例

武田 瑞穂

十文字学園女子大学

15:10~16:10

ポスター6

外来・入院統計

司会：佐藤 亜希子（福島県立医科大学 医学部 神経精神医学講座）

P6-1 児童思春期病棟での入院治療の意義

○吉田 奈緒美、早川 宜佑、岩垂 喜貴、岡野 恵里香、清水 圭祐、笠原 麻里

1. 医療法人財団青溪会 駒木野病院

P6-2 和歌山県立医科大学附属病院の子どものこころ外来開設後の患者の動向

○石山 雄大、松浦 広樹、山口 泰成、紀本 創兵

和歌山県立医科大学 神経精神医学教室

P6-3 東大阪市立障害児者支援センター児童精神科の現状と課題 外来初診患者の統計からみえること

○土居 史磨^{1,2}、長濱 剛史³、岡崎 康輔²、山室 和彦²、浦谷 光裕²、相原 加苗¹、山本 朗¹、
太田 豊作⁴、牧之段 学²

1. 東大阪市立障害児者支援センター、
2. 奈良県立医科大学精神医学講座、
3. 市立岸和田市民病院精神科、
4. 奈良県立医科大学 医学部看護学科 人間発達学

P6-4 当院を受診した20歳未満の患者の検討

○岩屋 悠生、香月大輔、高田 加奈子、松本 美菜子、山根 謙一、山下 洋

九州大学病院 子どものこころ診療部

15:10~16:10

ポスター9

学校精神保健1

司会：館農 勝（ときわ病院）

P9-1 中学生の主観的睡眠不足感の改善における背景要因 —学校訪問型睡眠講座による実践研究から—

○綾部 直子¹、田村 典久³、大川 匡子²

1. 秋田大学教育文化学部、2. 医療法人社団絹和会 睡眠総合ケアクリニック代々木、
3. 広島大学大学院人間社会科学研究科

P9-2 学校における健康観察から抑うつ・不安症状を予測する

○西村 倫子^{1,2}、和久田 学^{2,6}、大須賀 優子^{1,2}、津久井 伸明^{1,2}、足立 匡基^{2,3}、高橋 芳雄^{2,4}、
諏訪 利明^{2,5}、片山 泰一^{2,6}

1. 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター、
2. 公益社団法人 子どもの発達科学研究所、3. 明治学院大学心理学部心理学科、
4. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、5. 川崎医療福祉大学、
6. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科

P9-3 児童青年期におけるエフォートフル・コントロールとインターネットの依存的使用の関連

○高橋 芳雄¹、足立 匡基²、森 裕幸³、新川 広樹⁴、中村 和彦⁵

1. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、
2. 明治学院大学心理学部心理学科、3. 帝京平成大学、4. 弘前大学教育学部、
5. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

P9-4 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の大流行が中学生に与えた中長期的な影響 —教師と生徒へのアンケート調査より—

○小倉 正義¹、金子 一史²

1. 鳴門教育大学大学院学校教育研究科、2. 名古屋大学心の発達支援研究実践センター

15:10~16:10

ポスター 12

学校精神保健 2

司会：藤岡 徹（福井大学教育学部）

P12-1 精神科での診察および心理カウンセリングに対して、日本と中国の大学生におけるスティグマの比較について —精神疾患に関する知識の把握度に焦点を当てて—

○李 杉杉、武田 俊信

龍谷大学文学研究科臨床心理学コース

P12-2 特別支援学校における神経科校医から見た教職員の医療に対する疑問と期待

沢井 真樹

宇治おうばく病院

P12-3 学校レベルのソーシャル・キャピタルが小中学生の欠席日数に与える効果 —マルチレベル媒介分析による検討—

○森 裕幸^{1,2}、高橋 芳雄^{2,3}、足立 匡基^{2,4}、西村 倫子⁵、新川 広樹⁶、長田 真人⁷、
中村 和彦^{2,7}

1. 帝京平成大学健康メディカル学部心理学科、

2. 弘前大学大学院医学研究科附属子どものこころの発達研究センター、

3. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、

4. 明治学院大学心理学部心理学科、5. 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター、

6. 弘前大学教育学部、7. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

P12-4 ASD児のインターネット依存度に対してADHD併存、家庭・学校要因が与える影響

○河邊 宏幸¹、藤田 梓¹、川上 澄香²、西村 倫子²

1. 天竜病院児童精神科、2. 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター

19:00~21:00

懇親会

9:00~11:00

教育に関する委員会セミナー

学校でのメンタルヘルスへのアプローチ ~どう理解し、伝えるか~

司会：小野 和哉（聖マリアンナ医科大学 神経精神科）

司会：足立 匡基（明治学院大学心理学部心理学科）

子どものこころの問題に影響する個人および環境要因に関する学校での調査実施について

西村 倫子（浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター、公益社団法人子どもの発達科学研究所）

学校ベースのメンタルヘルス調査におけるフィードバックの活用

新川 広樹（弘前大学教育学部）

高校保健体育の学習指導要領に精神疾患が位置付けられた経緯と具体的な内容について

横嶋 剛（文部科学省）

11:05~13:05

福祉に関する委員会セミナー

障害児福祉：現在の制度における課題

司会：古田 洋子（埼玉県中央児童相談所）

司会：小林真理子（山梨英和大学）

障害者手帳の制度における課題

辻本 哲士（滋賀県立精神保健福祉センター）

わが国における「知的障害」の定義をめぐる課題

辻井 正次（中京大学）

障害児のいる家庭への経済的支援に関する制度の課題

本田 秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、長野県発達障がい情報・支援センター）

障害児支援サービス制度の課題

内山登紀夫（福島学院大学）

13:10~14:10

共催セミナー3（大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部）

児童精神科領域におけるロボットを用いた支援の可能性

司会：菊知 充（金沢大学医薬保健研究域医学系 精神行動科学）

演者：熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

14:20~15:20

一般口演 11

入院治療 1

司会：清水 日智（長崎大学病院精神神経科）

○11-1 入院治療による行動障害の軽減 ～知的障害を持つ広汎性発達障害児の一例～

○鳥井 麻緒¹、鷺野 千秋¹、伊藤 京子¹、久納 一輝²、中島 弘道¹、中西 大介¹

1. 三重県立子ども心身発達医療センター、2. 三重県立こころの医療センター

○11-2 言語表出の顕著な苦手さを認めた小5男児に対し、ベースを介した関わりによる個別Social Skills Trainingを行った症例

○永田 浩貴¹、打田 彩夏²、中西 大介¹

1. 三重県立子ども心身発達医療センター、2. 三重県中勢児童相談所

○11-3 攻撃性、感情調整の問題を伴う神経発達症児の入院における変化に関する研究

○北村 紗緒梨¹、松浦 直己²、鷺野 千秋¹、中西 大介¹

1. 三重県立子ども心身発達医療センター、2. 三重大学教育学部特別支援教育講座

○11-4 児童思春期病棟入院患者を対象とした多職種でのSSTの取り組み

○和田 浩平、國井 千瑛里

医療法人 仁精会 三河病院

15:20~15:30

閉会式

8:30~10:30

シンポジウム7

日常診療と子どものトラウマケア

司会：笠原 麻里（医療法人財団青溪会駒木野病院）

司会：亀岡 智美（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター）

S7-1 総合病院精神科一般外来におけるトラウマケア

村上 伸治（川崎医科大学精神科学教室）

S7-2 岩手医科大学附属病院児童精神科におけるトラウマケア

八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座・岩手医科大学附属病院児童精神科）

S7-3 単科精神病院 児童精神科病棟におけるトラウマケア

岩垂 喜貴（駒木野病院）

S7-4 TSプロトコールを用いたディメンショナル・モデル診断による家族併行治療

杉山登志郎（浜松市こどものこころの診療所、福井大学子どものこころの発達研究センター）

指定発言

青木 省三（公益財団法人 慈圭会精神医学研究所）

10:40~12:40

災害対策委員会セミナー

COVID-19禍における子どもの育ち -現場からの声-

司会：岩垂 喜貴（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

司会：中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

COVID-19禍における子どもの育ち -児童精神科の立場から-

榊屋 二郎（東京医科大学精神医学分野／東京医科大学病院こどものこころ診療部門）

コロナ禍における周産期医療、保育所の現場から ~総合病院精神科医の立場として~

柴田真理子（兵庫県立尼崎総合医療センター精神科）

新型コロナと子どもの育ち ~“コロナ禍”で見えてきた課題に対する取り組み報告~

遠藤香菜子（仙台市宮城野区保健福祉センター）

COVID-19禍における岩手県の子どもの様子 -教育の現場から-

三浦 光子（岩手医科大学いわてこどもケアセンター）

14:20~15:20

一般口演12

入院治療2

司会：水本 有紀（国立国際医療研究センター国府台病院）

○12-1 思春期病棟における任意入院の意義と地域連携

○遠藤 季哉、中川 吉丈、川久保 綾香、根路銘 要太、持田 藍、吉井 亜希子、久保木 寛将
東京さつきホスピタル 発達・思春期精神科

○12-2 日本における児童精神科入院治療の現状と展望

○長沢 崇¹、島内 智子²

1. 地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科、
2. 聖マリアンナ医科大学 神経精神科

○12-3 任意入院の動機づけを維持しつつ、病棟の治療構造の中で成長した思春期女子の一例

○根路銘 要太、吉井 亜希子、持田 藍、川久保 綾香、久保木 寛将、中川 吉丈、遠藤 季哉
特定医療法人研精会 東京さつきホスピタル

○12-4 解離症状を呈する母を支え希死念慮と醜形恐怖を訴え続けた不登校中学女児の入院治療 ～治療チームの視点から～

○水本 有紀¹、砂川 ひかる²、箱島 有輝¹、稲崎 久美¹、宇佐美 政英¹

1. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、
2. 国立病院機構下志津病院 小児科

8:30~10:30

ICD-11に関する委員会セミナー

児童青年期にみられる精神疾患のICD-11における診断分類

司会・コーディネータ：中村 和彦（弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座）

司会・コーディネータ：根来 秀樹（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

ICD-11と記述精神医学

高岡 健（岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター）

ICD-11における精神病性障害（精神症）

大西 雄一（東海大学医学部総合診療学系精神科学）

ICD-11における神経発達症群

太田 豊作（奈良県立医科大学 医学部看護学科人間発達学）

ゲーム行動症と危険なゲーム行動 —採否をめぐる論争を振りかえる—

吉川 徹（愛知県医療療育総合センター 中央病院）

10:40~12:40

シンポジウム8

器物破損を繰り返す子どもたち —その病棟運営と治療的介入—

司会：堀川 直希（のぞえの丘病院）

司会：佐々木宏太（東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部）

S8-1 病棟での破壊的行動

木戸口和樹（医療法人翠星会松田病院）

S8-2 多摩あおば病院に入院する子ども達の破壊行為 ～開設2年目の児童・思春期病棟の現状～

清野 聡子（医療法人社団新新会 多摩あおば病院）

S8-3 向陽台病院における3年間の事故状況から器物破損の検討

横田 周三（向陽台病院）

S8-4 器物破損のある子どもたちへの治療的介入と病棟運営 ～児童思春期病棟開設3年目のあさか
ホスピタルにおける現状～

佐久間睦貴（社会医療法人あさかホスピタル）

14:20~15:20

一般口演 13

不登校・ひきこもり

司会：栗林 英彦（岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター発達精神医学研究所）

○13-1 緘黙のひきこもり青年4名への就労支援の取り組み～ひきこもり支援の新たな支援モデルの提案と考察～

○横田 裕幸^{1,2}、山本 彩³

1. 一般社団法人こころとキャリアの発達支援推進機構、
2. 大阪芸術大学、
3. 札幌学院大学

○13-2 コロナ禍における不登校の原因と予後に関連する因子についての後方視的検討

○佐藤 亜希子¹、千代田 高明¹、松本 貴智¹、川崎 由希子¹、和田 知紘¹、横倉 俊也¹、伊瀬 陽子²、國井 泰人^{1,3}、増子 博文¹、板垣 俊太郎¹

1. 福島県立医科大学神経精神医学講座、
2. 福島県総合療育センター、
3. 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

○13-3 不登校児童と登校児童におけるゲーム使用状況の検討

○木戸 瑞江、金平 隆彰、木曾田 大、中村 祐
香川大学医学部附属病院精神神経科

○13-4 不登校の原因が副腎皮質機能低下症であった2例の報告

佐村 瑞恵^{1,2}

1. 田崎病院、
2. さむら脳神経クリニック

8:30~09:30

一般口演 14

乳幼児

司会：内山 登紀夫（大正大学心理社会学部臨床心理学科）

○14-1 地域における3歳児の調査での、社会性の発達に遅れのある子どもの睡眠習慣と行動の問題との関連

○照井 藍¹、斉藤 まなぶ²、坂本 由唯³、三上 珠希²、大里 絢子²、中村 和彦¹

1. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座、
2. 弘前大学大学院保健学研究科・医学部心理支援科学科、
3. 弘前大学医学部附属病院神経科精神科

○14-2 母子手帳のさらなる科学的活用に向けて

○廣田 智也^{1,2}、斉藤 まなぶ³、坂本 由唯²、中村 和彦²

1. カリフォルニア大学サンフランシスコ校、
2. 弘前大学医学部神経精神科、
3. 弘前大学医学部心理支援科学科

○14-3 Screening for Social Development-14 (SSD-14) と3歳児の行動及び言語発達との関連

○斉藤 まなぶ¹、大里 絢子¹、三上 珠希¹、坂本 由唯²、照井 藍²、中村 和彦²

1. 弘前大学大学院保健学研究科・医学部心理支援科学科、
2. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

○14-4 1歳6か月においてゲームをしている子どもの特徴－1歳半及び3歳半健康診査問診票を用いた後ろ向きコホート研究

○内山 登紀夫^{1,2,4}、川島 慶子²、鈴木 さとみ¹、安部 郁子³

1. 大正大学、
2. 福島学院大学、
3. 福島大学、
4. よこはま発達クリニック

9:40~10:40

一般口演 15

学校保健 1

司会：林 みづ穂（仙台市精神保健福祉総合センター）

○15-1 読み書き困難をもつ学童のプロフィールとグループ化

○柳生 一自^{1,2,3}、末田 慶太郎³、橋本 竜作^{3,4}

1. 北海道医療大学心理科学部、
2. 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、
3. 札幌市子ども心身医療センター児童精神科、
4. 北海道医療大学リハビリテーション科学部

○15-2 高校生eスポーツ部活動における人付き合いの変化についての検討

○城野 匡¹、杉本 啓介²、松本 武士²、弟子丸 元紀²

1. 熊本学園大学社会福祉学部、
2. 希望ヶ丘病院

○15-3 特別支援学校との連携で実施した地域の学校への支援が子どもへの治療的効果をもたらした2症例

○宮田 光顕、伊藤 京子、中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

○15-4 子どもの可能性を拡げるために大人ができること

○関 晋太郎¹、吉岡 豊博²

1. 医療法人 三家クリニック、
2. 大東市立 南郷小学校

10:50~11:50

一般口演 16

外来・入院統計

司会：高岡 健（岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター）

○16-1 乳幼児健診で発達の遅れが疑われた児童の療育手帳申請状況

○峯川 章子^{1・2・4}、西牧 謙吾^{3・4}

1. 大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター小児科／発達障がい者支援室、
2. 大阪市中央こども相談センター、
3. 独立行政法人国立病院機構 新潟病院、
4. 大阪公立大学大学院医学研究科 発達小児医学

○16-2 岡山県精神科医療センターの児童思春期精神科診療における初診待機短縮に向けた取り組みの現状と課題

○塚原 優、古田 大地、齊藤 慧、大重 耕三、来住 由樹
地方独立行政法人岡山県精神医療センター 医局

○16-3 三河病院における児童思春期病棟開設後4年間の統計から見えてくること～現状と課題の考察～

大賀 肇
三河病院

○16-4 児童精神科を受診した子どもを対象とした、自記式および親評定式の2種類の質問紙を用いたゲーム行動症スクリーニング陽性率の比較

○館農 勝^{1・2・3}、下出 崇輝^{3・4}、南波 江太郎^{1・2}、白石 映里²、杉山 紗詠子^{2・5}、松井 知理^{2・6}、
下村 遼太郎^{1・2}、館農 幸恵²

1. ときわ病院、
2. ときわこども発達センター、
3. 札幌医科大学附属病院神経精神科こどもメンタルクリニック、
4. しもでメンタルクリニック平岸分院、
5. 北海道立子ども総合医療・療育センター、
6. 島松病院

12:00~13:00

一般口演 17

学校保健 2

司会：内出 希（岩手医科大学神経精神科学講座）

○17-1 子どもの健康課題解決のための学校と専門職者との連携協働に関する検討（1）－課題解決を担う校内組織の分析－

○綿井 雅康^{1,3}、采女 智津江^{1,2}、生天目 聖子^{1,4}、十一 元三¹

1. 神経発達症研究推進機構、2. 順天堂大学 スポーツ・健康学部、
3. 十文字学園女子大学教育人文学部、4. 滋賀県心の教育相談センター

○17-2 子どもの健康課題解決のための学校と専門職者との連携協働に関する検討（2）－課題解決を担う校内組織の分析－

○綿井 雅康^{1,2}、采女 智津江^{1,3}、生天目 聖子^{1,4}、十一 元三¹

1. 神経発達症研究推進機構、2. 十文字学園女子大学教育人文学部、
3. 順天堂大学スポーツ健康科学部、4. 滋賀県心の教育相談センター

○17-3 東日本大震災被災地域の子どものメンタルヘルスと学校における集団活動の関連について

○松木 佑⁴、吉田 弘和²、北川 佳奈⁵、遠藤 愛子⁵、小林 奈津子¹、菊地 紗耶¹、本多 奈美³、大塚 達以¹、富田 博秋⁴

1. 東北大学病院 精神科、2. 宮城県立精神医療センター、
3. 東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座 臨床心理学分野、
4. 東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、5. 東北福祉大学せんだんホスピタル

○17-4 保育園における教員と子どもの相互交流トレーニングの実践

○加藤 郁子¹、上地 彩香²、川崎 雅子²、加茂 登志子³

1. さいたま市子ども家庭総合センター、2. 一般(社)日本PCIT 研修センター、
3. 若松町こころとひふのクリニック

14:20~15:20

一般口演 18

虐待

司会：早川 洋（こどもの心のケアハウス 嵐山学園(児童心理治療施設)）

○18-1 訪問型児童虐待予防プログラムSafeCareについて－その概要－

近藤 強

チヨダクリニック 精神科 心療内科 児童精神科

○18-2 被虐待児の委託一時保護入院をめぐる様々な法的、倫理的課題 ～事例からの考察～

古橋 功一

独立行政法人国立病院機構東尾張病院

○18-3 児童相談所におけるトラウマインフォームドケアの実践と診療所の役割 ～10年の歩みを振り返って～

○加藤 良美¹、亀岡 智美²

1. 大阪府中央子ども家庭センター、2. 兵庫県こころのケアセンター

○18-4 小児期逆境体験を有し、大人を信用する事が出来ないA子への多職種によるアプローチ

○矢野 庄一郎、堀川 智史、堀川 公平

のぞえ総合心療病院

8:30~9:30

一般口演 19

摂食障害 1

司会：松浦 広樹（和歌山県立医科大学神経精神医学教室）

○19-1 孤独感と思春期やせの関連の検討：全国縦断調査の結果より

○山脇 かおり^{1,2}、西木 百合子^{3,4}、福屋 吉史^{5,6}、須山 聡⁷、金田 文香⁸、石塚 一枝⁸

1. 国立成育医療研究センター 教育研修部、
2. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科、
3. 東京都立小児総合医療センター 児童思春期精神科、
4. 東京大学大学院医学系研究科こころの発達診療部、
5. あさかホスピタル総合心療科、
6. 東邦大学医学部精神神経医学講座、
7. 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、
8. 国立成育医療研究センター 研究所 社会医学研究部

○19-2 男性の神経性やせ症はどう治療するか？ Family Based Treatmentが有効だった男子高校生

○真田 陸^{1,2,3}、西川 公平^{3,4}、鈴木 太^{2,5}、小坂 浩隆^{1,2}

1. 福井大学医学部精神医学、
2. 福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部、
3. 滋賀医科大学精神医学講座、
4. CBT センター、
5. 上林記念病院子ども発達センターあおむし

○19-3 摂食障害患者の初回入院治療における目標体重の検討

○倉田 和美¹、柳橋 達彦¹、稲川 優多²、中村 博大²、須田 史朗²

1. 自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科、
2. 自治医科大学精神科

○19-4 思春期の親子における体型に関する意識が影響する要因の検討

○松本 優¹、細川 里瑛¹、河邊 憲太郎²、岡澤 麻耶¹、井上 彩織¹、曾我 純也¹、堀内 史枝²、上野 修一¹

1. 愛媛大学大学院医学系研究科 分子・機能領域 精神神経科学講座、
2. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座

9:40~10:40

一般口演20

強迫症・トラウマ

司会：三宅 和佳子（兵庫県こころのケアセンター）

○20-1 児童青年期の強迫症を予測する子どもの行動チェックリスト (CBCL) 項目の検討

○牧野 拓也^{1・2・3・4}、井出 草平^{5・6}、眞田 陸^{2・4}、福元 進太郎^{2・4}、東 琢磨^{2・4}、今成 英司^{2・4}、
渡真利 眞治^{2・4}、鈴木 太^{1・2・7}、小坂 浩隆^{1・2・4}、西山 毅⁸

1. 福井大学子どものこころの発達研究センター、
2. 福井大学子どものこころ診療部、
3. 大阪大学 大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科、
4. 福井大学医学部精神医学、
5. 多摩大学情報社会学研究所、
6. 大阪大学全学教育推進機構、
7. 上林記念病院こども発達センターあおむし、
8. 名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学

○20-2 子どもの強迫症における感覚プロフィール

○山根 謙一、高田 加奈子、松本 美菜子、岩屋 悠生、香月 大輔、山下 洋
九州大学病院 子どものこころの診療部

○20-3 全国の子ども病院におけるトラウマインフォームドケアについての調査

三宅 和佳子^{1・2}

1. 兵庫県こころのケアセンター、
2. 大阪母子医療センター 子どものこころの診療科

○20-4 解離と幻覚 その関係性と治療アプローチ

吉村 淳

東北医科薬科大学病院

10:50~11:50

一般口演21

心理社会的援助・家族支援

司会：森岡 由起子（聖学院大学心理福祉学研究科）

O21-1 ヤングケアラー経験が青年期のメンタルヘルスに与える影響①

○松崎 裕香^{1,3}、小野 美樹¹、佐藤 みのり²、井上 猛¹

1. 東京医科大学精神医学分野、
2. 山梨英和大学人間文化学部人間文化学科、
3. 柏崎厚生病院

O21-2 ヤングケアラー経験が青年期のメンタルヘルスに与える影響②

○小野 美樹¹、松崎 裕香^{1,2}、佐藤 みのり³、井上 猛¹

1. 東京医科大学精神医学分野、
2. 柏崎厚生病院精神科、
3. 山梨英和大学人間文化学部人間文化学科

O21-3 慢性疾患児の家族支援における課題：保護者のストレス反応と社会的孤立

○小林 まどか¹、田中 恭子²

1. 国立成育医療研究センター こころの診療部、
2. 国立成育医療研究センター こころの診療部 児童・思春期リエゾン診療科

O21-4 子どもたちの思いを治療に生かすための工夫 ～母親の育児放棄により安定した養育がうけられなかったA子との治療から～

○中尾 有希、山口 洋介、堀川 直希

1. 医療法人コミュニテ風と虹 のぞえの丘病院

12:00~13:00

一般口演22

地域連携

司会：清田 晃生（大分療育センター）

O22-1 子どもの自殺予防を視野に入れた連携協働システムについて —OODA (Observe→Orient→Decide→Act→) ループの活用を視野に考える—

○岡田 倫代¹、中土井 芳弘²、藤川 愛³

1. 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻、
2. 四国こどもとおとなの医療センター、
3. 高松市保健所

O22-2 長崎県大村市におけるメンタルケア・アドバイザー医派遣事業の紹介と実践報告

○野口 知洋、宮田 雄吾

医療法人カメラリア大村共立病院

O22-3 滋賀子どもの心の診療ネットワークの構築と活動

○稲垣 貴彦^{1,2}、宇野 正章³

1. 医療法人明和会 琵琶湖病院、
2. 滋賀医科大学 精神医学講座、
3. パームこどもクリニック

O22-4 “叩けよ、さらば開かれん(マタイ福音書7)” — 2023年4月1日施行の名古屋市独自の一時保護委託児の精神科入院加算制度の紹介—

○吉岡 眞吾¹、丸山 洋子²

1. 愛知県精神医療センター、
2. 名古屋市中央児童相談所 主査(医学的指導・児童精神科医師)

14:20~15:20

一般口演23

摂食障害2

司会：藤田 純一（横浜市立大学附属病院児童精神科）

○23-1 時系列データを用いた新型コロナウイルス感染症と10代の神経性やせ症との関連に関する実証研究

○福屋 吉史^{1,2}、船渡川 智之²、山口 大樹²、大岡 美奈子³

1. あさかホスピタル総合心療科、
2. 東邦大学医学部精神神経医学講座、
3. 東邦大学医療センター大橋病院心の診療科

○23-2 コロナ禍が大阪市立総合医療センター児童青年精神科の神経性やせ症の入院治療に与えた影響

○狩野 静香、松本 慶太

大阪市立総合医療センター 児童青年精神科

○23-3 思春期摂食障害患者28名に対するFamily Based Treatmentの実践報告 ～医療機関と民間カウンセリングルームの連携～

○西川 公平^{1,2,3}、稲垣 貴彦^{2,4}、眞田 陸^{2,5}

1. CBTセンター、
2. 滋賀医科大学精神医学講座、
3. 一般社団法人CBT研究所、
4. 琵琶湖病院、
5. 福井大学医学部精神医学

○23-4 COVID-19パンデミック前後での児童思春期摂食障害患者の臨床像の変化

○松井 健¹、加藤 秀一²、名和 佳弘²、今枝 美穂³、高橋 長秀²

1. 名古屋大学医学部附属病院 精神科、
2. 名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科、
3. 桜クリニック

9:40~10:40

ポスター 13

心理社会的援助・家族支援 1

司会：安藤 咲穂（千葉県こども病院 精神科）

P13-1 当院で行われたGaming disorder患者対象のデジタルデトックスキャンプの計画立案について

下村 拓也

さいがた医療センター

P13-2 ペアレント・トレーニング実施における評価ツールの使用に関する調査

○山口 穂菜美^{1,2}、足立 みな美^{2,5}、伊藤 大幸⁴、原口 英之³、井上 雅彦^{2,5}

1. 鳥根大学教育学部、2. 鳥取大学大学院医学系研究科、

3. 国立精神・神経医療研究センター、4. JDDnet、5. 弘前大学大学院医学系研究科

P13-3 性問題行動や生活全般に課題をもつ精神科デイケア利用者への多職種支援

○西村 明子、藤田 純嗣郎

岡山県精神科医療センター

P13-4 発達障害のある児をもつ在日中国人を対象としたペアレント・トレーニングプログラム開発のための実証的研究

○井上 菜穂¹、井上 雅彦²

1. 鳥取大学 学生支援センター、2. 鳥取大学大学院医学系研究科

9:40~10:10

ポスター 16

心理社会的援助・家族支援 2

司会：上野 千穂（京都市第二児童福祉センター 診療所）

P16-1 精神疾患に関するスティグマについての大学生へのインタビュー調査

○武田 俊信¹、上林 結理²、小正 浩徳¹

1. 龍谷大学心理学部心理学科、2. 龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻

P16-2 「親子を支える」在宅支援システム – 児童精神医療セクター制50年の歴史を持つフランスでの実践を紹介する –

島内 智子

聖マリアンナ医科大学 神経精神科

9:40~10:25

ポスター 19

精神療法・心理療法

司会：浦谷 光裕（奈良県立医科大学附属病院）

P19-1 児童思春期精神科の外来診療における音楽療法の実践報告

井関 真知子

福岡こどもと大人の心療内科児童精神科まちこメンタルクリニック

P19-2 心理教育としてのアートサイコセラピー：支援学校での教職員への試み

森 香保里

独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター

P19-3 心理職養成大学院におけるセクシュアリティ教育の問題点

○松原 愛¹、武田 俊信²

1. 龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻、2. 龍谷大学心理学部心理学科

10:50~11:50

ポスター 14

摂食障害

司会：吉岡 靖史（岩手医科大学神経精神科学講座）

P14-1 顕著な肥満恐怖や自己誘発嘔吐と激しい治療抵抗があり、長期拘束や腸瘻による経管栄養を要した摂食障害の1例

○豊原 公司¹、南 達哉²、堀内 亮¹、佐々木 和人³、鈴木 悠¹、押淵 英弘⁴、吉井 亜希子⁵、新井 卓⁶、庄 紀子¹

1. 神奈川県立こども医療センター、
2. 八景コエールクリニック、
3. 宮城県立精神医療センター、
4. 東京女子医科大学精神医学講座、
5. 東京さつきホスピタル 発達・思春期精神科、
6. 子どもメンタルクリニック

P14-2 摂食障害診療における神奈川県内小児医療機関と神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科との連携の現状

○尾野 美奈子¹、永井 直子¹、吉井 亜希子^{1,2}、中村 智朗¹、鈴木 悠¹、山本 恭平¹、豊原 公司¹、庄 紀子¹

1. 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科、
2. 東京さつきホスピタル 発達思春期精神科

P14-3 レジリエンスと思春期やせとの関連：全国縦断調査の結果より

○石塚 一枝¹、山脇 かおり^{2,3}、西木 百合子^{4,5}、金田 文香¹、須山 聡⁶、福屋 吉史^{7,8}、小川 しおり⁹

1. 国立成育医療研究センター社会医学研究部、
2. 国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター、
3. 国立成育医療研究センター教育研修部、
4. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、
5. 東京大学大学院医学系研究科こころの発達診療部、
6. 北海道大学病院 児童思春期精神医学研究部門、
7. あさかホスピタル 総合心療科、
8. 東邦大学医学部精神神経医学講座、
9. 日本福祉大学 教育・心理学部

P14-4 COVID-19大流行前後における浜松医科大学医学部附属病院の摂食障害入院患者数の推移

○和久田 智靖、中村 佳夏、横倉 正倫、加藤 康彦、竹林 淳和
浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科

10:50~11:20

ポスター17

乳幼児

司会：桑原 斉（埼玉医科大学医学部神経精神科・心療内科）

P17-1 岡山県の小規模自治体における発達支援システムづくりの現状と課題

高山 恵子

希望ヶ丘ホスピタル

P17-2 A市における3歳児発達健診の5年間の経緯及び自閉スペクトラム症(ASD)の併存障害について

○三上 珠希¹、大里 絢子¹、斉藤 まなぶ¹、照井 藍²、坂本 由唯³、三上 美咲⁴、
中村 和彦²

1. 弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域・弘前大学医学部心理支援科学領域、
2. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、3. 弘前大学医学部附属病院神経科精神科、
4. 弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域

10:50~11:20

ポスター20

入院治療2

司会：長沢 崇（東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科）

P20-1 大人との関係構築を基盤とした個別Social Skills Trainingを通して成長が見られた小学6年生注意欠如多動症男児の症例

○後久 智子¹、中村 清美¹、中村 みゆき²、永田 浩貴¹、中西 大介

1. 三重県立子ども心身発達医療センター、
2. 特定非営利活動法人ライフ・ステージ・サポートみえ

P20-2 児童精神科病棟での活動集団療法が有効であった解離性障害の一例

○井上 彩織^{1,2}、板垣 琴瑛²、高橋 萌々香²、水本 有紀²、箱島 有輝²、稲崎 久美²、
河邊 憲太郎³、堀内 史枝³、宇佐美 政英²、上野 修一¹

1. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座、
2. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科、
3. 愛媛大学医学系研究科 児童精神医学講座

12:00~12:45

ポスター 15

症例

司会：藤田 梓（独立行政法人国立病院機構 天竜病院）

P15-1 「行動制限を用いた認知行動療法」が奏功した児童摂食障害2症例の検討

○山口 大樹、出口 育海、伊藤 恵、大岡 美奈子、船渡川 智之
東邦大学医学部精神神経医学講座

P15-2 自傷や器物破損を繰り返すプラダーウィリ症候群の14歳男児：誰もが退院を諦めかけている状態から、多職種で連携し地域での生活を実現させるまで

○川妻 加奈、野澤 唯、幅田 加以瑛、大森 一郎、小坂 浩隆
福井大学附属病院

P15-3 激しい暴力を繰り返し治療に難渋した自閉スペクトラム症の11歳男児例

○大谷 安奈、長沢 崇
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

12:00~13:00

ポスター 18

その他5

司会：武田 俊信（龍谷大学文学部 臨床心理学科）

P18-1 小学校における教員と子どもの相互交流トレーニングの実践

松本 慶太
大阪市立総合医療センター 児童青年精神科

P18-2 大学病院精神科病棟における思春期女子グループ療法の試み

○石田 匡宏、吉村 裕太
福岡大学医学部精神医学教室

P18-3 当クリニックの児童思春期・若年成人外来における親子・家族まるごと診療1ー現状と課題

三枝 恵美
医療法人光仁会 元住吉えみ心療クリニック

P18-4 当クリニックの児童思春期・若年成人外来における親子・家族まるごと診療2ー発達障害の要
支援度評価尺度(以下、MPSA)、ウェクスラー式知能検査(以下、WISC/WAIS)を中心とした
家族の理解と心理支援

○清嶋 香織、三枝 恵美
医療法人光仁会 元住吉えみ心療クリニック

一般演題 (Eポスター)

PDD/自閉スペクトラム症 (ASD)

E-P-1 青年期の女性自閉スペクトラム症者が抱える『カモフラージュ』と『自分らしさ』との狭間で生じる葛藤—インタビュー調査を通して—インタビュー調査を通して

- 岩男 英美¹、土橋 悠加⁷、藤井 寛子⁶、飯田 潤子²、豊丹生 啓子³、田中 亜矢巳⁵、木谷 秀勝⁴
1. 中村学園大学 教育学部、
 2. なかにわメンタルクリニック、
 3. 下関市こども発達センター、
 4. 山口大学教育学部、
 5. 山口大学大学院東アジア研究科博士後期課程、
 6. かねはら小児科、
 7. GMOドリームウェーブ株式会社

E-P-2 勉強へ回避する自閉スペクトラム症男児の入院治療経過

- 篠原 玲奈¹、宇佐美 政英¹、稲崎 久美¹、水本 有紀¹、吉村 裕太³、箱島 有輝¹、板垣 琴瑛¹、原田 郁大²
1. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科、
 2. 社会福祉法人拓く 久留米市西部障害者基幹相談支援センター、
 3. 福岡大学医学部 精神医学教室

E-P-3 不安と向社会性が自閉スペクトラム症児の目領域への注視に与える影響についての研究

- 藤岡 徹^{1・2}、小坂 浩隆^{2・3・4・5}
1. 福井大学教育学部、
 2. 連合小児発達学研究所、
 3. 福井大・精神医学、
 4. 福井大学病院子どものこころ診療部、
 5. 福井大・子どものこころの発達研究センター

E-P-4 自閉スペクトラム症の障がい特性を予測する臍帯血中の多価不飽和脂肪酸代謝物

- 平井 孝治¹、梅田 尚子¹、西村 倫子^{2・4}、松崎 秀夫^{3・4}
1. 福井大学学術研究院医学系部門、
 2. 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、
 3. 福井大学子どものこころの発達研究センター、
 4. 大阪大学連合小児発達学研究所

E-P-5 自閉スペクトラム症児の対人不適応行動尺度の作成と信頼性と妥当性の検討

- 中西 陽¹、小松 愛²、大西 貴子³
1. 奈良教育大学学校教育講座、
 2. 奈良教育大学特別支援教育研究センター、
 3. なにわ生野病院心療内科

E-P-6 自閉症スペクトラム障害者の協調動作課題における視覚運動変換の困難性について

- 齊藤 真善¹、安達 潤²
1. 北海道教育大学札幌校 特別支援教育専攻、
 2. 北海道大学大学院教育学研究院

E-P-7 強度行動障害者への入院治療プログラムを用いた多施設介入研究

- 會田 千重¹、杠 岳文¹、市川 宏伸²、井上 雅彦³、日詰 正文⁴、成田 秀幸⁴、根本 昌彦⁴、高橋 和俊⁵、山下 健⁶、吉川 徹⁷、児玉 匡史⁸、田中 恭子⁹
1. 国立病院機構肥前精神医療センター、
 2. 日本発達障害ネットワーク、
 3. 鳥取大学医学部医学系研究科、
 4. 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園、
 5. ゆうあい会石川診療所、
 6. 国立病院機構さいがた医療センター、
 7. 愛知県医療療育総合センター中央病院、
 8. 岡山県精神科医療センター、
 9. 国立病院機構菊池病院

外来・入院統計

E-P-8 東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科における入院患者の動向 ～センター開院後12年間の入院統計～

- 竹村 みどり¹、長沢 崇²
1. 陽和病院 精神科、
 2. 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

一般演題 (Eポスター)

- E-P-9 自殺関連行動を有する児童思春期外来患者の臨床的特徴
○池下 克実、竹村 有由、一岩 智明
医療法人一尚会 いちメンタルクリニック日本橋
- E-P-10 強度行動障害をもつ知的障害児・者の新規入院・レスパイトの受け入れの経験から
田中 恭子
菊池病院
- E-P-11 鶴が丘ガーデンホスピタル及び分院における18歳以下の外来初診患者の動向について
○川出 ゆう子¹、黒川 駿哉^{2,3}
1. 鶴が丘ガーデンホスピタル、2. 不知火クリニック、
3. 慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室
- E-P-12 都市部メンタルクリニック一般外来における児童青年期患者の3年間の動向
○竹村 有由、池下 克実、一岩 智明
医療法人一尚会 いちメンタルクリニック日本橋
- E-P-13 児童精神科初診時に身体症状を有する患者の解析 (予備研究)
○稲崎 久美、野村 由紀、藤原 正太郎、馬 敏宰、松土 晴奈、小高 麻衣子、酒匂 雄貴、
杉本 佳織、黒河内 敏成、篠原 玲奈、松堂 美紀、市川 万由奈、高橋 萌々香、箱島 有輝、
水本 有紀、板垣 琴瑛、山本 啓太、佐々木 祥乃、宇佐美 政英
国立国際医療研究センター 国府台病院 児童精神科

入院治療

- E-P-14 自傷行為のある思春期病棟入院患者におけるFamily Diagnostic Test (FDT) を用いた親子関係
○江間 彩子¹、小村 慶和²、児玉 啓輔³、高畑 賢³、三澤 史斉³、竹内 啓善⁴
1. (前) 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院、
2. 京都大学大学院医学研究科社会疫学分野、
3. 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院、
4. 慶應義塾大学 精神・神経科学教室
- E-P-15 児童精神科病棟における音環境保全対策が子どもと職員に与える影響：感覚に優しい入院環境にむけて
○高橋 秀俊¹、土田 幸子²、坂谷 政子³、中西 大介³
1. 高知大学 医学部 寄附講座 児童青年期精神医学、2. 鈴鹿医療科学大学 看護学部、
3. 三重県立子ども心身発達医療センター
- E-P-16 思春期病棟における集団精神療法の実践
坂上 沙織
大阪精神医療センター
- E-P-17 自閉症スペクトラム障害と性的マイノリティの悩みを抱えた性的逸脱行為の症例
○加藤 あい、大槻 一行、中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

一般演題 (Eポスター)

摂食障害

E-P-18 思春期発症の神経性無食欲症における腸内フローラ解析

○山口 泰成^{1,2}、中野 章代³、矢野 寿一³、紀本 創兵¹

1. 和歌山県立医科大学 神経精神医学教室、
2. 奈良県立医科大学 精神医学講座、
3. 奈良県立医科大学 微生物感染症学教室

E-P-19 児童思春期病棟における摂食障害患者の治療 —治療の構造的工夫について—

○佐藤 紗史、横田 周三、比江島 誠人、河崎 達弥、植村 照子、杉本 千佳子
向陽台病院

E-P-20 母子関係の介入が症状改善に寄与した摂食障害女児の治療経過の一例

○松土 晴奈、宇佐美 政英、稲崎 久美、水本 有紀、箱島 有輝、板垣 琴瑛、山本 啓太
国立国際医療研究センター国府台病院

学校精神保健

E-P-21 中学時代の不登校経験は、高校での自殺念慮のリスクを2倍にする

○梅本 正和¹、大橋 浩²、駒田 幹彦³、二井 栄⁴

1. うめもとこどもクリニック、
2. 三重病院小児科、
3. 駒田医院、
4. 三重県医師会

E-P-22 日本語版感情反応性指標の信頼性と妥当性の検討 —小中学生におけるイリタビリティと内在化・外在化問題の関連—

○長田 真人¹、足立 匡基⁴、高橋 芳雄³、森 裕幸²、齊藤 卓弥⁵、中村 和彦¹

1. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、
2. 帝京平成大学健康メディカル学部心理学科、
3. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、
4. 明治学院大学心理学部、
5. 北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座

心理社会的援助・家族支援

E-P-23 児童・思春期症例に対する訪問看護の有用性

○門間 太作¹、金本 辰洋²、堀上 千里²、大野 由梨¹、魚住 広之¹、中井 大貴¹、橋本 亮¹、
田村 和世¹、吉見 佳奈¹、飯塚 理¹、福島 茂樹¹、田中 顕正¹、吉川 陽子¹、松島 章晃¹、
横田 伸吾¹、黒田 健治¹

1. 医療法人 杏和会 阪南病院、
2. Ohana Sun 訪問看護ステーション

E-P-24 不登校児を対象とした児童思春期精神科ショートケアの予後について ～医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニックショートケア“なごみ”参加者予後の後方視的検討～

○村嶋 隼人¹、岡田 恵里¹、岩橋 多加寿²、奥野 正景¹

1. 医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック／三国丘病院、
2. 医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック

地域連携

E-P-25 当院における児童青年期の初診患者の動向

○徳丸 淑江、市川 千智、中島 美千世
Koharu terrace Clinic

E-P-26 障害児相談支援の現状と課題 —相談支援専門員への全国アンケート調査の結果から—

○稲田 尚子¹、内山 登紀夫²

1. 大正大学、
2. 福島学院大学

一般演題 (Eポスター)

統合失調症・ARMS

E-P-27 Child Psychosis-risk Screening System (CPSS) の予後予測能—機械学習による検証

○濱崎 由紀子^{1,2}、阪上 由子³、松尾 雅博⁴、眞田 陸⁶、上羽 智子⁵

1. 京都女子大学現代社会学部、2. 医療法人藤樹会滋賀里病院、
3. 滋賀医科大学医学部小児科学講座、4. 滋賀医科大学医学部精神医学講座、
5. 済生会守山市民病院小児科、6. 福井大学医学部精神医学講座

強迫症・チック症

E-P-28 認知行動療法により短期間で改善した児童強迫症の2症例

○荻野 俊、向井 馨一郎、櫻井 正彦、細井 幸彦、松永 寿人
兵庫医科大学病院 精神科神経科

ADHD

E-P-29 注意欠如多動傾向のある大学生の自己受容の特徴

○篠田 直子¹、篠田 晴男²、篠田 菜々³

1. 信州大学学術研究院教育学系、2. 立正大学心理学部、3. 千葉大学大学院医学薬学府

不安症など

E-P-30 場面緘黙児の保護者が医療機関を受診する際に抱く困難感

○山中 智央^{1,2}、井上 雅彦²

1. 鳥根大学教育研究推進系、2. 鳥取大学大学院医学系研究科

不登校・ひきこもり

E-P-31 長期の不登校であった自閉スペクトラム症の中学生男児の入院治療経過

○小高 麻衣子¹、板垣 琴瑛¹、原田 郁大²、箱島 有輝¹、稲崎 久美¹、水本 有紀¹、宇佐美 政英¹

1. 国立国際医療研究センター国府台病院、2. 久留米市西部障害者基幹相談支援センター

その他の神経発達症

E-P-32 神経線維腫症1型の視空間認知と学習能力の関連性

○佐々木 彩恵子¹、磯部 昌憲²、上月 遥²、上床 輝久²、戸瀬 景茉²、砂田 桃³、森本 佳奈³、
村井 俊哉^{2,3}

1. 京都大学発達小児科学教室、2. 京都大学医学部附属病院神経科精神科、
3. 京都大学精神医学教室

その他

E-P-33 新生児臍帯血中のリノール酸とリノール酸ジオールは出生体重に影響する

○梅田 尚子^{1,2}、平井 孝治^{2,3}、松崎 秀夫^{2,4}

1. 福井大学学術研究院医学系部門 育成期看護学、
2. 福井大学ライフサイエンスイノベーションセンター、
3. 福井大学学術研究院医学系部門 コミュニティ看護学、
4. 福井大学子どものこころの発達研究センター

一般演題 (Eポスター)

E-P-34 大学生のゲーム使用と学生生活の充実度 ―ゲーム依存に関する教育・心理系の大学生を対象としたアンケート調査から(続報)―

○小川しおり¹、須山聡²、鷺見聡³

1. 日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科、
2. 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、
3. 金城学院大学 看護学部

E-P-35 神経発達症支援と保育士のメンタルヘルス ―診断児と「気になる子」―

○上月 遥¹、長尾 海里³、山本 沙也加³、佐々木 彩恵子²、森本 佳奈¹、砂田 桃¹、山田 晶子¹、上床 輝久¹、磯部 昌憲¹、村井 俊哉¹

1. 京都大学大学医学部附属病院 精神科、
2. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室

E-P-36 東日本大震災による孤児を里子として迎え入れた里親のインタビューへ

○福地 成^{1,2}、古川 恵美³、井上 靖子⁴、増野 園恵⁵、林 知里⁵、梅田 麻希⁵

1. 東北医科薬科大学医学部 精神科学教室、
2. 公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター、
3. 兵庫県立大学看護学部、
4. 兵庫県立大学環境人間学部 環境人間学科、
5. 兵庫県立大学 地域ケア開発研究所